

会 議 録

会議名 (附属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和 2 年度第 2 回 A 部会		
事務局 (担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和 2 年 8 月 21 日(金) 午後 7 時 00 分から午後 9 時 00 分		
開催場所	ウェブ会議システムにより開催 (傍聴場所:川西市役所 3階 301 会議室)		
出席者	委員	藤本真里(部会長)、鈴木光義、加門文男、乾美由紀、田中真、三善知子、名木田絢子	
	その他		
	事務局	総合政策部参画協働課 副部長兼課長、課長補佐、同課主任2名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	<p style="text-align: center;">1 開 会</p> <p style="text-align: center;">2 議 事 A 部会のテーマ 「(地域・市民活動に対して、)やる気があり積極的だが取り組めていない人を巻き込んでいくには」</p> <p style="text-align: center;">3 閉 会</p>		

1 開 会

事務局にて進行。

2 議 事

A部会テーマ

「(地域・市民活動に対して、)

やる気があり積極的だが取り組めていない人を巻き込んでいくには」

○藤本部長より

「多田東地区福祉委員会」の担い手募集のイメージをつめるため、部会メンバーが出向き一緒にワークショップを開催します。鈴木委員より、「自治会それぞれの課題があるので、カードを使って解決したい」と申し出がありましたので、今回は鈴木委員の自治会を想定し、模擬ワークショップを行います。これから自治会に出向いたときの段取りをつめていくので、順番や大切なことなど、皆さん意見をだしてください。

・本日の進行について

1.配役を決める。

トラップを仕掛ける人（田中真委員、乾委員）

ワークショップを進める人（鈴木委員、事務局1名）※当日は、自治会員。

トラップカードを作成する人（藤本部長、加門委員、名木田委員、三善委員、事務局1名）

・当日のワークショップを想定しながら進行し、説明の内容、順番、重要点などの意見を各自委員が述べていく。

※流れとしては、初めはトラップを仕掛ける会が出向く設定。

2.各自紹介する。

(1)トラップを仕掛ける会

〇〇団体、〇〇という目的を持って、〇〇したいと考えている。

(2)〇〇自治会

〇〇活動していて、〇〇の悩みがあるので、〇〇な人が集まって欲しいので今回カード作りのワークショップを行うことになった。

3.ワークショップの方法について説明する。

(1)カード作成方法の説明や、作成時のアドバイスをする。

(2)カードの完成後は、カードについての充実させたい部分の振り返りや、次回どこで使用するか検討する。

4.本日の模擬ワークショップについて振り返る。

・トラップを仕掛ける会の今後の展開について検討する。

以上について、委員からの意見・提案

自治会側の参加者の選定について

- ・カードを作成する人は分けるのか。
- ・トラップを仕掛ける人とワークショップを進める人は一緒にいいか。
- ・ワークショップの進行役は、トラップを仕掛ける会でよいか。
- ・進行役は幹部で、カード作りは活動に消極的な班長さんがよいのではないか。
- ・技術的にはトラップを仕掛ける会がフォローするが、ワークショップの進行役は幹部ではどうか
- ・何人ぐらいでワークショップするのか。
- ・カードの作成は、ヒントがたくさんある中で作成したい。
- ・5~6人を1グループとして考えてはどうか。
- ・事前の打ち合わせがない場合、説明を詳しく教えてもらわないとわからないので集まる人数は、A部会側の都合で決めてほしい。
- ・鈴木委員の自治会役員は、幹部を含めて約10人。
- ・鈴木委員の自治会側の意見としては、
幹部以外の班長は、順番に役が回ってくるので仕方ないという意識がある。トラップを仕掛ける会の呼びかけで、自治会の問題を積極的に打ち明けてもらい、それを解決するための会であると示してもらえれば呼びかけに乗ってもらえるのではないか。
- ・カードを作る人の意識を啓発するためでなく、やる気のある人を引き込むためのカード作りではないか。
- ・自治会役員だけか、他の人も呼ぶべきか。
- ・班長になりたくないと考えている一般の人は参加しないと思う。
- ・そもそもカードでいきなり幹部をひっかけるのは難しい。それよりは、楽しく役員をしてくれる人をひっかける方がよいのではないか。
- ・自治会側の参加者選びは重要である。
- ・自治会側の参加者は、自治会役員だけの約10人で行う。

5. 模擬ワークショップの実施

実施内容は、以下のとおりである。

(1) 〇〇自治会の概要

自治会加入世帯：1750世帯 自治会員：772名

自治会の中は、隣保で10から20軒くらいずつに分かれている

隣保長は、回覧板の発着するお家

隣保の上は、班。班長が役員会に出席

(2) 重要課題

・自治会離れ ・高齢の役員 ・災害対策 ・自治会の役割大きい ・人材確保 ・人材育成

(3) カードのイメージ

① 表面について

やる気があり積極的だが取り組めていないという、ある人の具体的なイメージ、そ

の人の疑問・悩み

②裏面について

表面の悩みや疑問の答え 活動の具体的内容や条件（有償か無償かなど）

(4)参加して欲しい人の具体的なイメージ（属性）

- ・ 男性
- ・ 年代 40代
- ・ 大阪に勤務 現役
- ・ 子どもは中学生になって、子育て落ち着いてきた
- ・ なんでも妻に任せてしまっている

(5)特徴

- ・ 防災には興味ある。
- ・ 避難訓練するべきだと思う。
- ・ 非常食が食べてみたい。
- ・ 消火器の操作をしたことがない。

(6)不安

- ・ もしものとき、どこに避難したらいいのかわからない。
- ・ 地域に知り合いがいらないから、災害時に助けてもらえるのか不安。

(7)具体的な活動内容や条件

- ・ 非常食が食べられる（ドライカレー、羊羹など）。
- ・ 消火器の使い方を教えてもらえる。
- ・ 家族で、土日の短時間で参加できる。
- ・ 炊き出しに豚汁もでる。
- ・ 避難場所でキャンプできる（子どもが喜ぶかも）。
- ・ 自治会加入率は40%で、その人たちと繋がることができる。
- ・ 趣味ともが増えるような、自己紹介ができる場（同世代が集まる場所）があれば。

(8)カードを作るときのポイント

- ・ (両面作成 テンプレートもあり) テンプレートを用意して、それを参考にカードを作る人たちの言葉でつくる。
- ・ カードづくり 20分
- ・ A部会メンバーも入って作る。
- ・ 団体以外の人である部会メンバーが入ることによって課題が見えてくる。

(9)発表省略

(10)振り返り

- ①模擬ワークショップできづいたこと

重要点

- ・説明は、カードの見本やテンプレートを使用する。
- ・問題点・データがわかる役員たちと、疑問を投げかける役割のトラップの会は、メンバーやトラップをしかけた人と情報共有する。
- ・カードをつくることを通して、イベントなど対象のグループの活動内容を見直すきっかけになった。

期待できること

- ・マナー化回避のため、避難訓練のあり方を変えていくことにつながる。
- ・幹部の「ありがたいなあ」というような本音を役員幹部以外が聞くことができたとしてもよい機会になる。

〇〇自治会の世代別意見

- ・自治会員は70代以上で、現役世代にあまり負担はかけられないと感じている。
- ・30代からすると、自分自身が必要とされているなど感じていない。
- ・現役世代は、具体的な誘い「餅つきに来てよ！」があれば行きやすい。

②時間配分

- ・発表や振り返り 20分では短い

※本日のワークショップ 約1時間

- ・トラップを仕掛ける会の紹介 3分
- ・自治会の紹介、自治会(〇〇委員)の求める人材 3分
- ・ワークショップの方法について説明 10分
- ・カードづくり 20分
- ・発表 5分
- ・振り返り 20分

3 閉会

事務局にて進行。

○事務局

次回、全体会の開催については、9月の予定で日程調整をお願いします。